

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立滑川総合高等学校		Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	総合学科の趣旨を踏まえ、キャリア教育に重きを置き、「生徒が主体的に自己実現を図れる」ことを目指す学校像に据えている。学校に寄せられる期待に十分応え、学校の特色や強みを生かしたものとなるようにできると更に良い。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	前年度の成果を踏まえ、目標のスパイラルアップが図られている。目指す学校像の実現に向けて、総合学科の特長を踏まえた中期的な目標が、きめ細やかな分かりやすい言葉で示されている。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体の目標を踏まえ、分掌・学年等が実効性の高い取組が進められるようにシートをシンプルな形式にするなど工夫が見られる。評価項目が年度達成目標としてはやや抽象的なので、より具体的な目標とするとともに、組織間の連携を強化していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	現状や課題に基づき、PC端末等を利用した学習の効果的な活用など評価項目の達成に向けた具体的な方策が策定されている。評価指標については、何を、どの程度行うのかといった視点から、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長の的確なリーダーシップの下、更に共通理解を深め、学力向上や進路希望の実現などの目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートなどを実施し、学校自己評価のための情報が収集されている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータを得られるようアンケートを工夫し、具体的な取組につなげ、PDCAサイクルを回していただきたい。	
特記事項			